

■2025東京都議会議員選挙 会派マニフェストのきばえチェック表

基本項目	都議会自民党	都民ファーストの会	都議会公明党	日本共産党東京都委員会	立憲民主党政東京支部連合会	ミライ会議	自由を守る会
<b>① 理念・ビジョン</b> ありたい東京都の姿（理念・ビジョン・将来像）が示されているか ありたい東京都の姿の根拠・着眼点が示されているか 東京都としての課題が捉えられているか	4	6	4	2	7		2
<b>② 政策の体系性・一貫性・独自性</b> ビジョン・方針・政策が体系化されているか 相互に矛盾する内容が無定義に盛り込まれていないか 独自の政策が示されているか	4	5	4	3	6		3
<b>③ 政策の具体性・実現可能性</b> 政策の目標・期間・実現方法（工程）・財源などが明示されているか 達成度・成果の事後検証は可能か 目標・政策の実現可能性について、合理的な説明がされているか 実行体制・実行プロセスは示されているか	3	6	3	3	1		1
<b>④ 市民起爆点</b> 読み手に取ってわかりやすい工夫はされているか マニフェストの配布・周知の工夫はされているか 策定過程において市民の提案を組み込むプロセスを有しているか	5	5	5	3	3		1
<b>⑤ 議会機能能力</b> 知事と議会の間に二元代表としてのスタンスが保たれているか 市民の声を聞いて都政に反映する仕組みが提案されているか 議会が自らの活動を見直す提案が示されているか	1	5	4	2	2		5
計	90点	17	27	20	13		12
	100点	34	54	40	26		24

90点……条件を満たしている  
 100点……条件を全て満たしている  
 〇……条件を満たしている  
 △……条件を一部満たしている  
 ×……条件を満たしていない

会派・団体名	東京・生活者ネットワーク	国民民主党東京都総支部連合会	れいわ新選組	参政党	社民党東京都連合	日本保守党	再生の道
東京維新の会	4	4	4	2	1		
東京都の将来像というよりは、東京から日本を変えるというキャッチフレーズが示されている。東京都の現状には触れられているところもあり、そこから今回の政策の流れている。	「2025東京政策」では東京の将来像をイラストで表現し「生活者のまち」と示されているが、今回の都議選政策集との連動がみえると更によかった。	重点政策として「都民の手取りを増やす」とあるが、これは手法であってビジョンではない。なぜ都民の手取りを増やすのか？増えたと何がどうなるのか？東京都はどのような都市になるのか？などの點が示されていない。	東京都の問題提起は多数挙げられているが、東京都の将来像については触れていない。	都政で実現したい政策は並んでいるが、どのような首都をイメージされているのかというビジョンが示されていない。	東京都の問題提起も将来像も示されていない。		
議員定数3割削減や都民税50%削減等、独自の政策が掲げられている。しかし、ビジョンから体系立てられたものではないため、これらの政策が実現すると、どのような東京ができるのかが見えずら。	人口減少時代を見据え、東京都内のダウンサイジングを先導し、多岐にわたるワーカブルシティの発想でまちづくりの方針を打ち出している。しかし、具体的にどうする等はまだ示されておらず政策の内容まではうかがえない。	都民の手取りを増やすために、固定資産税の減税、水道料金の引き下げ等々が並んでいるが、どこを削減とするのか？削減する分をどう補填するのか？など、ここから懸念が湧いてくる。	公営住宅を増やす等、独自の政策も出されているが、どのように進めるのか、その具体的な内容については明らかになっていない。	都市の将来像は示されていないが、「お米クーポンの支給」や「太陽光パネル設置義務化」、「インボイス制度反対」など他に比べて独自の政策が盛り込まれている。ただし、体系立てられていないところが残念。	都市農業の推進や都営病院を直営にするなどの独自の政策も示されているが、単に「〇〇する」という方針の羅列にとどまっている。		
2	1	2	1	2	1		
都民税半減、議員定数3割削減等の数値目標はあるが、その他については、問題提起とその解決の方向性を示しているにとどまっている。	「〇〇する」というフレーズは並ぶが、具体的には示されていない。また、何が優先されるかわかりづら。数値も入っていないため、事後検証ができない。	宿泊税のところだけ金額が書かれてあったが、それ以外には具体的な数値が入っていない。これは、事後検証ができない単なるウィッシュリストになっている。	東京都の都債削減など現行の数値は特折みられるが、掲げられている政策について、具体的な数値で示されているものは無く、事後検証は不可能である。また、どこから着手するのか、どのように進めていくのか等のプロセスも不明。	都民税50%減税という点だけ具体的な数値が入っているが、それ以外は、どの程度まで実施するのか示されていないため、事後検証ができない。また、財源根拠等も示されていないため実現可能性は不透明。	政策の具体的な中身が示されていない。		
2	2	2	2	2	1		
都民税に関する主張はグラフを使用するなど説明に工夫が見られるが、それ以外のところは文字だけで簡潔に済ませれば内容がわかりやすい。都民の意見を形成プロセスの中でどのように反映されたかを示していたら良かった。	文字だけの問題提起にとどまっているものの、文書が短いため少し読めば考えられることは伝わってくる。しかし、具体的ではないため、どこまで、どのようにして実施しようとしているのか、そのプロセスは伝わっていない。	「政策集」と「公約集」があり、政策集の方はポイントで資料が作成されており、簡潔に示されている。しかし、この公約集と政策集とを分けた意図などはわかりづらい。	短いフレーズで書かれているため、言わんとすることはわかりやすいが、実現するための根拠説明が不足しているため、「どう進めるのか？」について疑問が湧いてくる。	他に比べて独自の政策が多いため、目を引くキャッチコピーではあるが、なぜ、その政策が必要なのか、これを実施するとどうなるのか等の説明が不足している。	短いフレーズでコンパクトにまとめて提示してあるが、どういうプロセスで考えられたか不明である。		
6	3	0	2	0	3		2
議員定数削減や議会基本条例制定、口利き防止など議会自身の改革案が提示されている。	「資金を存続しない仕組みを提案する」とあるが、どのような仕組みなのか内容は不明。	都議会の事には触れられていない。	前期の自民党の問題については触れられているが、都議会をどのような議会にしようと考えているのか、その点は不明。	都議会議員選挙であるが、議会自身をどういう議会にしたいのか、どのような議会改革に取り組みたいのかは示されていない。	資金問題への再発防止の必要性、都議会情報の公開の必要性が示されている。		多選禁止（2期8年まで）としている。
15	13	11	12	11	8		2
30	26	22	24	22	16		4
東京都というよりは日本をどうするかというところへ力が注がれているため、東京都の具体的な問題や政策に触れられていない箇所が少ない。ただし、他の会派には無い独自の政策、例えば「議員定数削減」等、政策実現から掲げている「身を切る改革」が特徴として継続して見られる。	「2025東京政策」では東京都の将来像がイラストとともに描かれていたため、それを今回の選挙時の政策集と連動していないように見えるのは、もったいない。理念や希望的な政策の羅列が目立っているため、具体的な政策の内容について説明が必要だろう。	政策集と公約とに分けているが、わざわざ分けた理由は不明（どちらにも同じような内容のため）。また、手法が記されているが、そもそも東京都をどのような都市にしたいと考えているのか、そのビジョンに基づく政策集としていただきたい。	問題提起は沢山示されており、それに対する解決策も提示されているが具体性に欠ける。執行するのは行政側であり行政が実施する際のアイデアの提案が描かれてきた。また、東京都の将来都市像も示されたうえで政策が描られると一貫性が生まれてくる。	1枚のチラシの中に候補者と政策の大見出しのみ記載されているため、有権者にとっては手にとって見やすさはあるかもしれない。ただし、そこから具体的に政策の内容などを知らうとしてもwebページへ行っても知ることはできない。他に比べて独自の政策が並んでいるため関心を寄せる有権者もいると思うと残念である。	今回は、政策よりも候補者を全面的に前に出した選挙戦時であろうか。都議選の政策はコンパクトで短いフレーズのみにとどまっている。しかし、これでは東京都の在りたい姿や何故その政策を実施したいのかが不明である。		菅野の石丸氏は地方行政の首長経験者であるため、地方議会の二元代表制をよく理解されているはずである。それゆえ、地方議会がどのような権限を持ち、どのように機能すれば地方自治が推進するかの考えと、今回、多選禁止しか書かれていない点は、非常に残念である。執行権は行政にあるが、行政が実施する際のアイデアの提案や、議案提出権や予算修正権など議会のもつ権限を踏まえた記載があるとよかった。